



発行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区平河町2-7-5 (砂防会館内)  
電話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664

編集・発行人 西 浦 康 之

印刷所 株式会社 白橋印刷所

会員(定価1部100円) その他一般(定価1部150円)  
毎月1回15日発行



目 次

年頭所感	全国治水期成同盟会連合会 会長 陣内 孝雄	2
新年のご挨拶	国土交通省河川局長 門松 武	3
平成20年度河川局関係予算(案)の概要(速報版)		4
平成20年度全国治水大会兵庫大会のご案内	兵庫県	12
全水連だより 平成20年度全水連行事予定		12

## 年頭所感

## 治水関係事業の更なる推進

全国治水期成同盟会連合会  
会長 陣内 孝雄

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

治水事業は、安全で豊かな地域社会を実現するために不可欠なもので、本格的な高齢社会の到来に備えて、最も優先すべき根幹的な社会資本の整備事業であります。皆様が、この事業を促進するために熱心に尽力されてこられたことに衷心より敬意を表わし、感謝を申し上げますと共に、更に活動を強化して皆様の初期の活動目的が早期に達成されるように、心新たに一丸となって前進いたしたいと願っています。

ご承知のように、わが国は台風の前線に位置し、人口、資産の大半が洪水時の河川水位より低い沖積平野に集中しているために、水害や土砂害に極めて脆弱な国土条件の下にあります。そこで、古来から時の為政者によって治水事業が重点施策として進められてきましたが、治水施設の整備水準は今なお低く災害が後を断ちません。

昨年も、7月上旬には梅雨前線による豪雨で熊本を中心に九州各地で災害が発生し、中旬には台風4号に伴う豪雨で九州が宮崎県を中心に、四国では高知、徳島、愛媛の各県で大きな災害が発生しました。また、9月中旬には台風9号による豪雨で東海地方が静岡県を中心に、関東地方は西部地域を中心に、東北地方では岩手県を中心に、それぞれ甚大な被害を蒙りました。同じく9月中旬に台風11号と12号の影響を受けた秋雨前線の活発な活動のために、秋田、岩手の両県を中心に豪雨災害が発生しております。

これらの相次ぐ記録的な豪雨による被害は全国で死者、行方不明者11名、床上、床下浸水4,000戸を超え、誠に痛ましいものであります。

他方で、記録的な少雨現象による渇水被害が全国各地で発生し、地域社会の経済活動や地域の人々の日常生活に計り知れない被害や影響を与えており、安定的水供給の確保が引き続き治水事業の重要な課題となっております。利根川、筑後川など、取水制限が繰り返されている河川が多く、とりわけ四国の吉野川では一昨年に早明浦ダムが二度に亘って利水容量が底をつき、昨年も長期に亘り厳しい取水制限を余儀なくされました。

このような災害列島を、安全で暮し易い国土に整えるための平成20年度予算の政府案が昨年暮れの12月24日に決定されました。

これによると、国土交通省関係公共事業費は5兆2,740億円(国費)で対前年度比1,688億円(△3%)の減になっています。この内、河川局関係予算は8,838億円、対前年度比395億円(△4%)の減で、他の事業分野に比べると相変わらずや、厳しいものとなります。平成8年度予算をピークに削減が続いて、当時の半額に縮小した現在の治水事業費では、激甚な災害の頻発により激特事業予算が増大した結果、通常の河川の治水予算が逼迫し、計画的予防的治水の促進が次第に困難になっていきます。幸い平成19年度補正予算案が編成されて、「水害等再度災害防止等(国費1,742億円)」、その内「水害箇所等の緊急対応等」及び「河川堤防の点検結果により対策が必要となった箇所等の緊急対策等」として845億円(国費)が計上されるので、平成20年度予算と一体化して評価すると来年度の治水事業費は実質的に伸びることになり、明るさが見えてきます。さらに、来年度の新規制度として、「直轄河川災害復旧事業の拡充」が認められたことで、「激特事業」の一部を災害復旧事業(補正予算)で実施することが可能になり、治水予算の逼迫状況が緩和されます。関係の皆様のご努力に感謝申し上げます。

計画的な予防的治水がいかに効率的効果的であるかは、ニューオリンズ市のハリケーン「カトリーナ」災害の例を引くまでもなく明らかです。治水事業の促進にはずみを付ける1年にいたしたいと思います。

## 新年のご挨拶

# 安全で安心できる国土づくりに向けて



国土交通省河川局長

門松 武

謹んで新年のご挨拶申し上げます。日頃より河川行政に対して深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は梅雨前線や台風による豪雨、また、能登半島地震や新潟県中越沖地震の発生により全国各地で甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り致しますとともに、被害に遭われました方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

昨年に公表されたIPCC(気候変動に関する政府間パネル)の第4次報告では、地球温暖化に伴う気候変動によって、海面の上昇や集中豪雨の激化、干ばつの増加といった現象が生じることが、従来に増して高い信頼度で予測されており、水害や土砂災害、高潮災害及び渇水被害に対するリスクや海岸侵食の進行のおそれが今後とも確実に増大すると見込まれています。こうしたなかで、今後の対応として、温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>を削減する対策(緩和策)と併せて、自然現象の強暴化への対策(適応策)が重要となります。

これまで、時代の要請に応じた防災・減災対策を推進してきた結果、わが国の災害に対する安全度は着実に向上してきました。それにもかかわらず、頻発する記録的な集中豪雨、高潮等による災害は、河川・海岸堤防の決壊や土石流等による深刻な被害をもたらし、施設の整備が未だ不十分であることを改めて認識させると同時に、高齢者等の避難の困難さ、水防団員の減少などの地域の防災力の低下といった課題についても顕在化させるものでした。

このような状況を受け、すでに「総合的な豪雨災害対策の推進について(H17.4)」、「安全・安心が持続可能な河川管理のあり方について(H18.7)」等の政策提言が各種懇談会等によりなされてきたところです。

これまでにとりまとめられた提言等において示された基本的方向や具体的施策を基本として、「中期的に実施する治水対策がいかにあるべきか」について意見を伺うため、平成19年1月に社会資本整備審議会に諮問し、同審議会河川分科会において5回にわたる審議を経て、平成19年7月25日に「中期的な展望に立った今後の治水対策のあり方について」が国土交通大臣に答申されました。頂いた答申は、今年策定予定の次期社会資本整備重点計画に反映していくこととしております。

現在、政府全体としても地球温暖化により懸念される災害リスクの増大も考慮しつつ自然災害の『犠牲者ゼロ』を目指し、防災・減災対策を積極的・重点的に進めております。

安全で安心な国土は、地域の自立的発展、地域の活性化の基盤であり、その大前提です。治水は、国民の生命と財産を守るとともに、安定した経済成長の基盤ともなり、個性を発揮した地域づくりをするためには必須であり、極めて重要な国の政策課題であることは言うまでもありません。

国民の安全と安心を確保することは、国の基本的責務であるとの認識のもと、安全で安心できる国土づくりの確実な成果が得られるよう、防災・減災の治水対策を強力に進めていくために、地方と国とが一体となった取り組みを進めてまいりたいと思いますので、皆様方の一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

# 平成20年度河川局関係予算（案）の概要（速報版）

## I. 予算の概要

平成20年度予算は、去る12月20日に財務省原案が内示され、12月24日に政府案が決定されました。河川局関係では、国費ベースで4%の減と昨年に続き厳しい内容となっております。詳細は2月号に掲載しますが、速報版をお届けいたします。

### (1) 平成20年度国土交通省予算内示総括表

国費総額	5兆8,930億円 (0.97倍)
公共事業関係費	5兆2,740億円 (0.97倍)

一般公共事業費	5兆2,206億円 (0.97倍)
うち河川局関係予算	8,838億円 (0.96倍)
災害復旧等	534億円 (1.00倍)
その他施設費	600億円 (0.99倍)
行政経費	5,590億円 (1.00倍)

(注) 各計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

### (2) 平成20年度河川局関係予算決定総括表（国費）

(単位：百万円)

区 分	前年度予算額	決 定 額	倍 率
国土基盤河川	483,932	470,681	0.97
地域河川	189,721	176,703	0.93
砂防	140,465	135,847	0.97
急傾斜地崩壊対策	21,025	20,207	0.96
総合流域防災	62,519	56,987	0.91
海岸	24,220	23,410	0.97
独立行政法人土木研究所	1,378	—	—
計	923,260	883,835	0.96
災害復旧関係事業	50,602	50,602	1.00
災害復旧	35,037	39,189	1.12
災害関連	15,565	11,413	0.73
合計	973,862	934,437	0.96

- (注) 1. 前年度剰余金等として14,928百万円（前年度17,476百万円）を含む。  
 2. 各事業には、道路関係社会資本として26,000百万円（前年度28,265百万円）、住宅宅地基盤特定治水施設等整備事業として9,200百万円（前年度9,200百万円）、下水道関連特定治水施設整備事業として11,500百万円（前年度12,500百万円）を含む。

## Ⅱ. 新規事業の創設及び拡充等の概要

### 1. 新規事業の創設及び拡充等

#### 【治水事業】

##### ○ダムの長寿命化容量の確保

ダムが半永久的に機能するためには、有効な堆砂対策を講ずることが必要であるため、複数のダムがある水系においてライフサイクルコスト低減の視点から、既設ダムの水位を低下して効率的な堆砂除去を実施するための代替容量として、長寿命化容量を確保する。

##### ○砂防管理費の創設

火山噴火等に伴う継続的かつ大量の土砂流出等により、適正に機能を確保することが困難な砂防設備の管理で、経費及び技術上の見地等から都道府県が管理することが困難であるものについて、国直轄により砂防設備の管理を行うため砂防管理費を創設する。

##### ○流域貯留浸透事業の拡充（総合流域防災事業の拡充）

一定規模以上の学校、公園等の適地の減少により、貯留浸透施設の整備水準が低い都市部において、貯留容量の採択要件を緩和し、貯留浸透施設の整備を推進する。

#### 【海岸事業】

##### ○海岸堤防等老朽化対策緊急事業の創設

老朽化により海岸保全施設の機能が著しく低下し、甚大な被害が発生するおそれがある海岸において、海岸堤防・護岸等に係る老朽化調査、老朽化対策計画の策定、計画に基づく対策工事を一体的に推進する「海岸堤防等老朽化対策緊急事業」を創設する。

##### ○海岸環境整備事業の拡充（地域の特色を活かした自主的・戦略的取り組みへの支援）

広域的な一連の海岸を対象として、近隣市町村や多様な関係者が協働して行う海岸利用活性化計画の策定とこの計画に基づき海岸保全施設や海岸利用者向けの利便施設の整備ができるよう「海岸環境整備事業」を拡充する。

#### 【災害復旧関係事業】

##### ○直轄河川災害復旧事業の拡充

直轄管理河川の災害復旧事業において、次期出水で甚大な被害につながるおそれがある深掘れや土砂堆積箇所について、天然河床も施設とみなし対策を実施できるよう「直轄河川災害復旧事業」を拡充する。

##### ○改良復旧事業の拡充（氾濫流対策の整備）

越水による甚大な被害が発生した場合などにおいては、氾濫流対策（輪中堤・水防拠点）を取り込んだ改良復旧事業（災害助成・災害関連）を実施できるような事業制度を拡充する。

##### ○災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業の拡充

広範囲にわたり堆積した海岸漂着ゴミや流木等を処理するため、事業の対象範囲を拡大し、広域にわたる「複数の海岸」の関係者が協働して一体的・効率的に処理を行うこと等ができるよう「災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業」を拡充する。

#### 【新規箇所等】

##### ○木曾川水系連絡導水路事業の建設事業着手

木曾川水系の異常渇水時において、徳山ダムの渇水対策容量に確保した水を木曾川及び長良川に導水することにより、河川環境を改善すると共に、徳山ダムで開発した愛知県及び名古屋市の都市用水を導水し、木曾川で取水できるようにする。

##### ○最上小国川ダムの建設事業着手

最上小国川流域の洪水被害を軽減するため、洪水調節専用（流水型）ダムを建設し、治水安全度の向上を図る。

##### ○宮崎海岸の直轄海岸保全施設整備事業の新規採択

近年著しい侵食に見舞われ、地域経済への影響が甚大となるおそれがあることから早急な対策が求められている宮崎海岸について、直轄海岸保全施設整備事業により、保全対策を実施する。

##### ○利根川・佐原広域交流拠点のPFI方式による整備等

佐原広域交流拠点について、PFI手法（国庫債務負担行為）を活用することにより、効率的かつ効果的に整備・維持・運営を行う。

Ⅲ. 新規採択箇所名等

木曾川水系連絡導水路事業  
(河川総合開発事業、水資源機構事業)

1. 目的

- 木曾川水系の異常渇水時において、徳山ダムの渇水対策容量に確保した水を利用し、揖斐川から木曾川及び長良川に導水することにより、河川環境の改善を行う。
- 徳山ダムで開発した愛知県及び名古屋市の都市用水を最大4.0m<sup>3</sup>/s導水することにより、木曾川で取水できるようにする。

2. 内容

・位置:

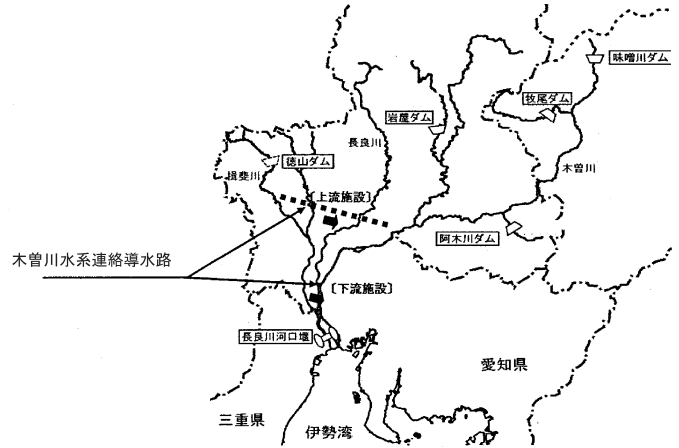
- (上流施設) 呑口：岐阜県揖斐郡揖斐川町  
吐口：岐阜県岐阜市、岐阜県加茂郡坂祝町
- (下流施設) 呑口：岐阜県海津市

吐口：岐阜県海津市

- 河川名：木曾川水系揖斐川、長良川、木曾川
- 事業内容：導水路延長約44km
- 総事業費：約890億円

3. 科目等

- (項) 河川整備事業費
- (目) 河川総合開発事業費
- (目) 水資源開発事業交付金



最上小国川ダム建設事業 (河川総合開発事業)

1. 目的

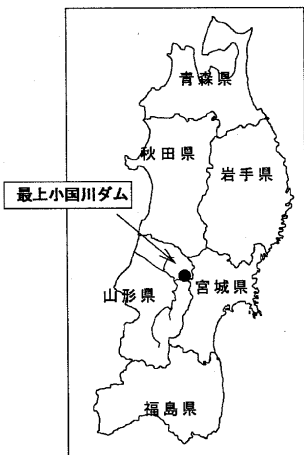
最上小国川流域の洪水被害を軽減するため、洪水調節専用(流水型)ダムを建設し、治水安全度の向上を図る。

2. 内容

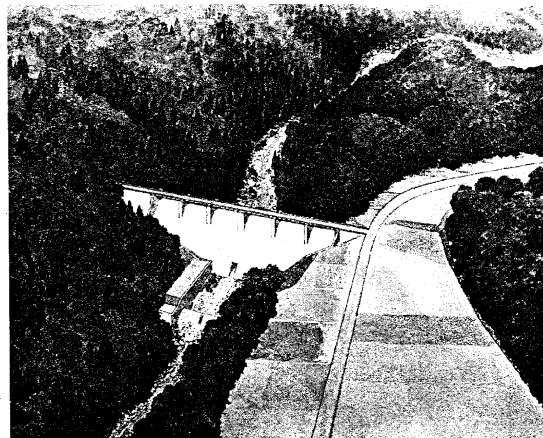
- 位置：山形県最上部最上町
- 河川名：最上川水系最上小国川
- 事業内容：重力式コンクリートダム(洪水調節専用(流水型)ダム)を建設
- 総事業費：約70億円

3. 科目等

- (項) 河川整備事業費
- (目) 治水ダム建設事業費補助



【最上小国川ダム完成予想図】



利根川・佐原広域交流拠点のPFI方式による整備等

1. 目的

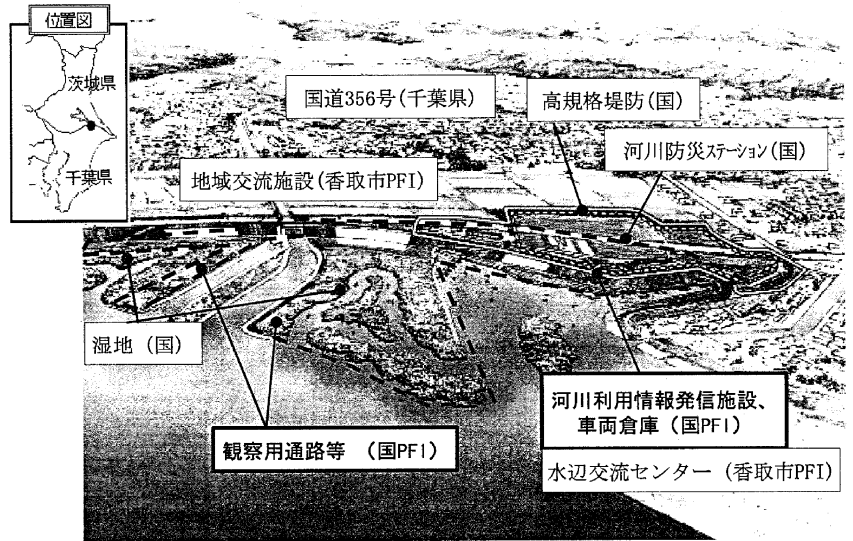
佐原広域交流拠点について、PFI方式(国庫債務負担行為)を活用することにより、効率かつ効果的に整備・維持管理・運営を行う。

2. 内容

- 位置：千葉県香取市
- 河川名：利根川水系利根川下流
- 事業内容：車両倉庫、河川利用情報発信施設、観察用通路等の整備・維持管理・運営
- 総事業費：約24億円

3. 科目等

(項) 河川整備事業費



※PFI方式(国庫債務負担行為)の対象は、上記施設の一部(車両倉庫、河川利用情報発信施設、観察用通路等)です。

改良復旧事業の拡充(氾濫流対策の整備)

1. 目的

改良復旧事業にあたり、通常連続堤防の整備に加えて、土地利用状況等の地域の実情に応じた河川整備により、効果・効率的に治水安全度を向上させる。

2. 内容

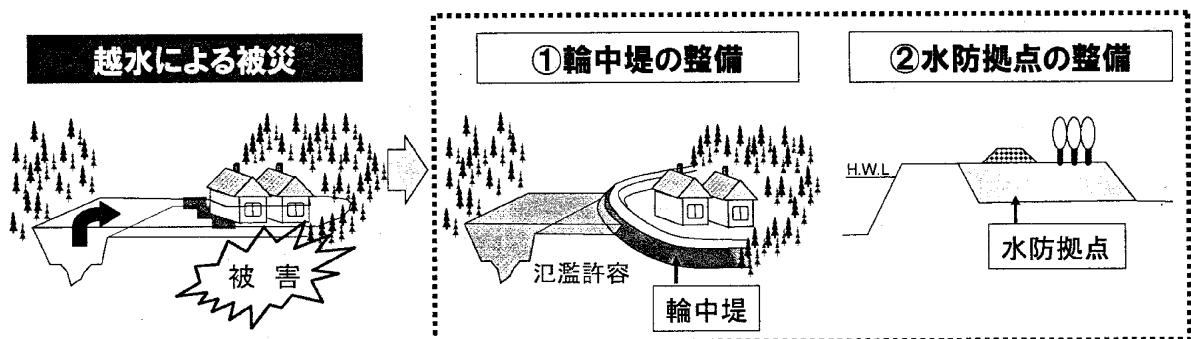
災害により甚大な被害が発生した際、①家屋移転

等の土地利用の変化も踏まえ、連続堤に比べて輪中堤により防御した方が経済的に有利な場合、連続堤に代えて実施できるものとする。②水防拠点の整備が必要な場合であって、水防拠点を整備する方が河道掘削に伴う発生残土の運搬処理に比べ経済的に有利な場合に実施できるものとする。

3. 科目等

- (項) 河川等災害関連事業費
  - (目) 河川等災害関連事業費補助 1/2等
- (項) 河川等災害関連事業費
  - (目) 河川等災害復旧助成事業費補助 1/2等

■事業制度拡充のイメージ



## Ⅳ. 平成20年度予算ダム別内訳表

【直轄・機構】

(単位：百万円)

道府県名	分類	区分	ダム名	内示額		備考
				共同費	国費	
北海道	特ダム	建設	沙流川・沙流川総合開発	4,151	3,528	二風谷、平取
	〃	〃	留萌川・留萌	4,001	3,400	
	〃	〃	石狩川・幾春別川総合開発	3,710	3,071	新桂沢、三笠ぼんべつ
	〃	〃	天塩川・サンル	1,301	1,097	
	河川総合	〃	石狩川・夕張シューパロ	5,674	4,823	
青森	特ダム	建設	岩木川・津軽	4,610	3,396	
岩手	特ダム	建設	北上川・胆沢	23,630	17,982	
宮城	特ダム	実調	鳴瀬川・鳴瀬川総合開発	155	109	田川、洪水導水路
秋田	特ダム	建設	米代川・森吉山	7,077	5,826	
	〃	〃	雄物川・成瀬	2,290	1,867	
	〃	実調	子吉川・鳥海	330	277	
山形	特ダム	建設	最上川・長井	7,380	5,670	
茨城	流況調整	建設	利根川那珂川・霞ヶ浦導水	800	600	
栃木	特ダム	建設	利根川・湯西川	13,897	7,573	
	水機構	〃	利根川・思川開発	12,200	6,357	
群馬	特ダム	建設	利根川・八ッ場	30,000	11,988	
	〃	実調	利根川・吾妻川上流総合開発	110	77	
	河川総合	〃	利根川上流ダム群再編	327	229	
埼玉	河川総合	実調	荒川上流ダム再開発	81	56	大洞、二瀬(再)
	〃	〃	利根川上流ダム群再編	327	229	
	水機構	建設	利根川・武蔵水路改築	500	349	
長野	特ダム	建設	天竜川・三峰川総合開発	586	408	戸草、美和(再)
富山	特ダム	建設	庄川・利賀	2,212	1,553	
岐阜	特ダム	建設	木曽川・新丸山	2,354	1,628	
	〃	実調	矢作川・上矢作	64	45	
	河川総合	建設	木曽川・横山ダム再開発	2,262	1,607	
	〃	建設	木曽川・木曽川水系連絡導水路	100	70	
	水機構	建設	木曽川・木曽川水系連絡導水路	1,400	642	平成20年度中に承継予定
静岡	河川総合	実調	天竜川・天竜川ダム再編	995	697	
愛知	特ダム	建設	豊川・設楽	1,990	1,393	
三重	水機構	建設	淀川・川上	3,600	1,777	
福井	河川総合	建設	九頭竜川・足羽川	1,260	944	
滋賀	特ダム	建設	淀川・大戸川	1,000	700	
	水機構	〃	淀川・丹生	660	252	
京都	特ダム	建設	淀川・天ヶ瀬ダム再開発	135	84	
大阪	特ダム	建設	淀川・猪名川総合開発	177	124	余野川
兵庫	特ダム	建設	淀川・猪名川総合開発	177	124	余野川
奈良	特ダム	建設	紀の川・大滝	5,381	3,366	
和歌山	特ダム	建設	紀の川・紀の川大堰	4,405	3,305	
鳥取	特ダム	建設	千代川・殿	5,473	4,415	



道府県名	分類	区分	ダム名	内示額		備考
				共同費	国費	
島根	特ダム	建設	斐伊川・志津見	4,750	4,127	
	〃	〃	斐伊川・尾原	10,788	8,968	
徳島	河川総合	建設	那賀川・長安口ダム改造	1,000	678	
愛媛	河川総合	建設	肱川・山鳥坂	1,244	932	
	〃	〃	肱川・鹿野川ダム改造	1,650	1,208	
高知	特ダム	建設	渡川・中筋川総合開発	1,241	1,074	中筋川、横瀬川
福岡	河川総合	実調	筑後川水系ダム群連携	100	83	
	水機構	建設	筑後川・小石原川	8,200	5,224	
佐賀	特ダム	建設	嘉瀬川・嘉瀬川	18,748	14,184	
	河川総合	実調	筑後川・城原川	132	100	
	流況調整	建設	筑後川・佐賀導水	2,150	1,572	
長崎	特ダム	建設	本明川・本明川	360	302	
熊本	特ダム	建設	球磨川・川辺川	3,400	2,463	
	〃	実調	緑川・七滝	17	13	
	河川総合	建設	白川・立野	570	435	
大分	特ダム	建設	大分川・大分川	2,900	1,621	
	水機構	〃	筑後川・大山	9,267	4,091	
鹿児島	河川総合	建設	川内川・鶴田ダム再開発	650	532	
沖縄	特ダム	建設	沖縄東部河川総合開発	1,594	1,077	億首、漢那
	〃	〃	沖縄北西部河川総合開発	8,114	2,419	大保、比地、奥間

(注) 本表の外に徳山ダムに係る特定事業先行調整費の償還分5,390百万円がある。

## 【補助】

(単位：百万円)

道府県名	分類	区分	ダム名	内示額		備考
				共同費	国費	
北海道	多目的	建設	徳富川・徳富	4,420	1,299	
	〃	〃	当別川・当別	5,300	2,623	
	〃	〃	厚真川・厚幌	532	290	
青森	多目的	建設	堤川・駒込	470	234	
	治水	実調	大和沢川・大和沢	30	15	
岩手	多目的	建設	築川・築川	845	465	
	治水	〃	気仙川・津付	596	298	
宮城	多目的	建設	筒砂子川・筒砂子	50	27	
	〃	〃	迫川・長沼	3,454	1,896	
	治水	実調	川内沢川・川内沢	0	0	※
秋田	多目的	建設	小坂川・砂子沢	2,453	1,315	
山形	治水	建設	最上小国川・最上小国川	240	120	
福島	多目的	建設	今出川・今出川総合開発	0	0	今出、千五沢※
群馬	多目的	建設	烏川・倉測	0	0	※

道府県名	分類	区分	ダム名	内示額		備考
				共同費	国費	
群馬	多目的	建設	碓氷川・増田川	95	44	
千葉	多目的	建設	夷隅川・大多喜	0	0	※
新潟	多目的	建設	破間川・広神	2,200	1,206	
	〃	〃	胎内川・奥胎内	451	224	
	治水	建設	儀明川・儀明川	40	20	
	〃	〃	常浪川・常浪川	40	22	
長野	〃	〃	鷲川・鷲川	100	50	
	多目的	建設	砥川・下諏訪	0	0	※
	〃	〃	夜間瀬川・角間	0	0	※
	治水	〃	浅川・浅川	250	125	平成19年度は多目的
	〃	〃	上川・蓼科	0	0	※
石川	〃	実調	清川・清川	0	0	※
	多目的	建設	町野川・北河内	695	344	
	治水	〃	犀川・辰巳	1,000	500	
岐阜	多目的	建設	荒城川・丹生川	1,624	809	
	治水	〃	大八賀川・大島	40	20	
	〃	〃	長良川・内ヶ谷	250	138	
静岡	多目的	建設	太田川・太田川	4,564	1,766	
三重	治水	建設	加茂川・鳥羽河内	200	100	
福井	多目的	建設	河内川・河内川	308	152	
	〃	〃	浄土寺川・浄土寺川	1,268	614	
	〃	〃	吉野瀬川他・日野川総合開発	1,337	684	榑谷、二ツ屋導水、吉野瀬川
滋賀	治水	建設	安曇川・北川	205	113	
	〃	〃	芹川・芹谷	225	113	
京都	多目的	建設	畑川・畑川	320	130	
大阪	多目的	建設	安威川・安威川	2,351	856	
	治水	〃	大津川・槇尾川	550	275	
兵庫	多目的	建設	武庫川・武庫川	0	0	※
	治水	〃	千種川・金出地	198	99	
奈良	治水	建設	岩井川・岩井川	30	15	
和歌山	多目的	建設	切目川・切目川	1,003	497	
鳥根	多目的	建設	浜田川・浜田川総合開発	1,218	607	第二浜田、浜田(再)
	治水	〃	都治川・波積	328	164	
	〃	実調	三隅川・矢原川	60	30	
広島	多目的	建設	沼田川・福富	286	125	
	治水	〃	八幡川・梶毛	24	12	
	〃	〃	賀茂川・仁賀	208	104	
山口	多目的	建設	錦川・平瀬	1,670	832	
	〃	〃	深川川・大河内川	141	60	
香川	多目的	建設	香東川・椋川	207	87	
	〃	〃	別当川・内海ダム再開発	389	185	
	〃	〃	湊川・五名ダム再開発	40	20	

道府県名	分類	区分	ダ ム 名	内示額		備 考
				共同費	国費	
香 川	治 水	建 設	綾川・綾川ダム群連携	40	20	長柄(再)、田万
高 知	多目的	建 設	和食川・和食	100	44	
福 岡	多目的	建 設	那珂川・五ヶ山	6,282	1,756	
	〃	〃	祓川・伊良原	4,802	1,758	
	治 水	〃	巨瀬川・藤波	344	172	
佐 賀	多目的	建 設	井手口川・井手口川	2,340	1,058	
	〃	実 調	有田川・有田川総合開発	0	0	有田(再)、猿川※
長 崎	多目的	建 設	川棚川・石木	292	106	
	〃	〃	中島川他・長崎水害緊急	280	140	本河内高部・低部、西山、浦上、中尾、雪浦、雪浦第二
熊 本	多目的	建 設	路木川・路木	281	116	
	治 水	〃	川辺川・五木	98	74	
大 分	治 水	建 設	稲葉川他・竹田水害緊急	4,270	2,349	稲葉、玉来
鹿 児 島	治 水	建 設	新川・西之谷	416	208	
沖 縄	多目的	建 設	儀間川他・儀間川総合開発	1,519	1,327	儀間、タイ原

(注) 1. 共同費及び国費は治水事業のみ額であり、道路事業及び下水道事業並びに住宅事業に関するものを含まない。

2. 備考欄の※の事業については、準備段階にある事業等のうち、事業見直し検討の途上にあり、当面の間、事業進捗が見込めない事業について、補助事業としての予算計上を見送るものであり、見直しの結果、事業促進が方向づけられた場合には、予算計上を再開するものである。

# 平成20年度全国治水大会 兵庫大会

— 神戸市「神戸国際会館こくさいホール」において、  
平成20年6月5日(木)開催 —

兵庫県河川整備課

平成20年度の全国治水大会が、兵庫県において開催されることになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

- 開催月日 平成20年6月5日(木)午後
- 開催場所 神戸市  
「神戸国際会館こくさいホール」
- 特別講演 田辺 真人  
園田学園女子大学教授(予定)

翌6月6日(金)は治水関連事業に加え、世界遺産である姫路城方面や神戸灘の酒蔵、明石海峡大橋など魅力ある現地研修コースを用意したいと考えております。

正式な案内は4月中旬にはお届けしたいと考えておりますので、多数の皆様にご来県いただきますよう、心からお待ち申しあげます。

なお、開催地の神戸市は「レトロとモダンが会う街」として北野異人館や南京町をはじめ全国的に知られた灘の酒、スイーツのお店など非常に人気のある都市です。

現地研修(予定)

- 神戸・阪神コース  
石井ダム河川総合開発事業、生田川河川緑地軸整備事業等と「人と防災未来センター」、「灘の酒蔵」
- 北播磨・丹波コース  
加古川河川激甚災害対策特別緊急事業等と「県立広域防災センター」
- 中播磨・西播磨コース  
千種川床上浸水対策特別緊急事業等と「姫路城」
- 但馬コース  
円山川直轄河川激甚災害対策特別緊急事業等と「コウノトリの郷公園」
- 淡路コース  
育波川河川災害関連・砂防災害関連事業等と「明石海峡大橋」

## <全水連だより>

### 平成20年度 全水連行事予定

(平成20年1月10日現在)

全国治水期成同盟会連合会

月 日	(曜)	時 刻	行 事	会 場
4月23日	(水)	11:00	全水連春季理事会	麴町会館
6月5日	(木)	13:00	第60回全水連総会	神戸市神戸国際会館こくさいホール
6月5日	(木)	13:30	20年度全国治水大会	神戸市神戸国際会館こくさいホール
10月16日	(木)	11:00	全水連秋季理事会	麴町会館
11月20日	(木)	13:30	20年度促進全国大会	シェーンバッハ・サボー(砂防会館別館)

(注) 各地方治水大会の日程は、これから決定いたします。